

様式第1号

令和4(2022)年4月7日



真庭市議会
議長 小田康文 様

真庭市議会議員 西田文字



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- | | | |
|---|--------------|---|
| 1 | 区 分 | 調査研究 研修会 要請・陳情活動 |
| 2 | 訪 問 先 | <u>岡山市民会館 203会議室</u>
<u>岡山市北区丸の内二丁目1-1 tel086-223-2165</u> |
| 3 | 内 容 | <u>令和4年4月11日(13:30~16:00)</u>
<u>新人からベテランまで自治体議会特別セミナー</u>
<u>《議員の資質向上と議会運営の基本》</u>
<u>講師：自治体議会研究所 代表 高沖秀宣</u> |
| 4 | 行 程 | 行き : 自宅～自家用車～岡山市民会館
帰り : 岡山市民会館～自家用車～自宅 |
| 5 | 事務局から訪問先への依頼 | 必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> |

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

議長

副議長

局長

GL

係

回覧




様式第2号

報 告 書



令和4(2022)年4月12日

真庭市議会議長 小田康文 様

報告者 真庭市議会議員 氏名 西田文子 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自：令和4(2022)年4月11日（午前・ <u>午後</u> ） 1時30分 至：令和4(2022)年4月11日（午前・ <u>午後</u> ） 4時00分
2 場 所	岡山市民会館 203会議室 岡山市北区丸の内二丁目1-1 Tel. 086-223-2165
3 用 件	議員の資質向上と議会運営の基本 講師：高沖秀宣 （自治体議会研究所） 1.議員の資質向上の在り方 2.「二元代表制」における議会活動 3.議会運営の基本 4.議員力・議会力の強化
4 概 要	〈議会改革は、二元代表制を追求していくこと。〉 民意を反映することが議会の大きな課題であるが、執行機関への質問だけでなく、議員同士の討議を中心とした議会運営を行い、監視型から政策提言型議会へしていくことが、議会力の向上になる。一般質問を「議員の」から「議会の」へ転換させ、議会の活性化に繋げ、政策提案に結び、一般質問のレベルを上げ、議員力・議会力を上げていく。

報告書（継紙）

〈通年制議会を導入することで議会力をアップ。〉

通年制議会を採用すれば、執行機関の監視機能をアップすることができる。

通年議会にすることで、議員同士の討議する場も増え、議論が深まる。

そうすると、議会活動がパワーアップし、スピードアップにもなる。

通年会期制や定例会を年1回と定めている議会は3県議会と41市議会。

〈コロナ禍の議会運営〉

議事機関として機能を維持するため、多様性のある議会にしている市議会もある。オンラインによる委員会の開催のため条例の一部改正を行っている。本会議も議場に参集することが困難なときは、状況に応じた情報技術の積極的な活用を通じ、議会活動の継続を図るための準備をしておくことが必要。

〈感想〉

参加議員は4人で、他の市議会と情報交換して、真庭市議会は議会改革が進んでいることが分かった。政策提言をしていることが議会力のアップに繋がっていると言われ、委員会で議論を重ねたことで、議員1年目で発言する機会を与えてもらえることは、議員力をアップさせてもらっているのだと思った。本会議のオンライン参加は国会でも議論しているが、取手市では情報技術の積極的活用で、議会活動の継続を図ると条例の一部改正を行い本会議も当てはまるような感じにしている。先進的な議会運営を行っている議会が沢山あるので、情報交換をするためにもいろいろな研修会に参加したいと思う。